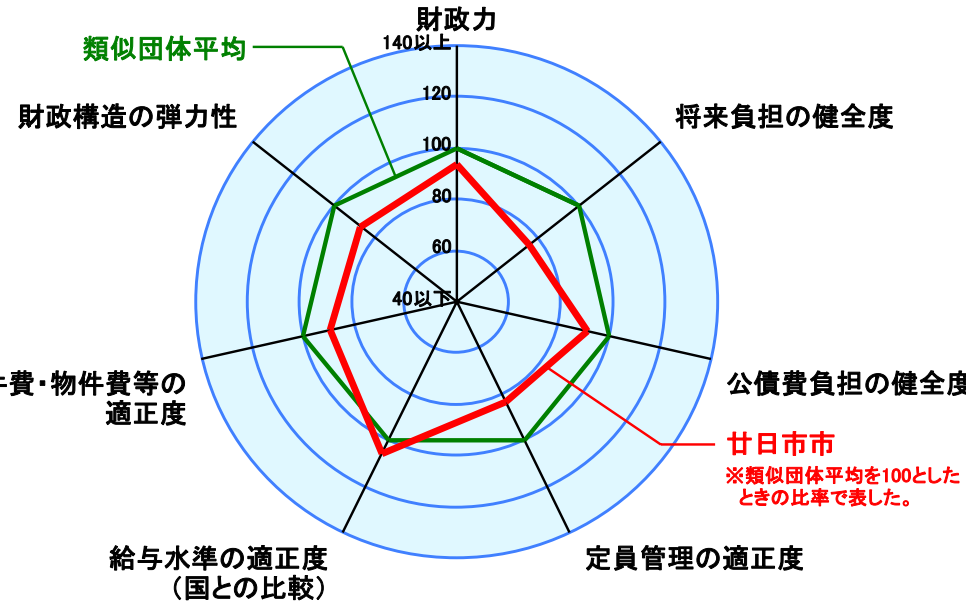
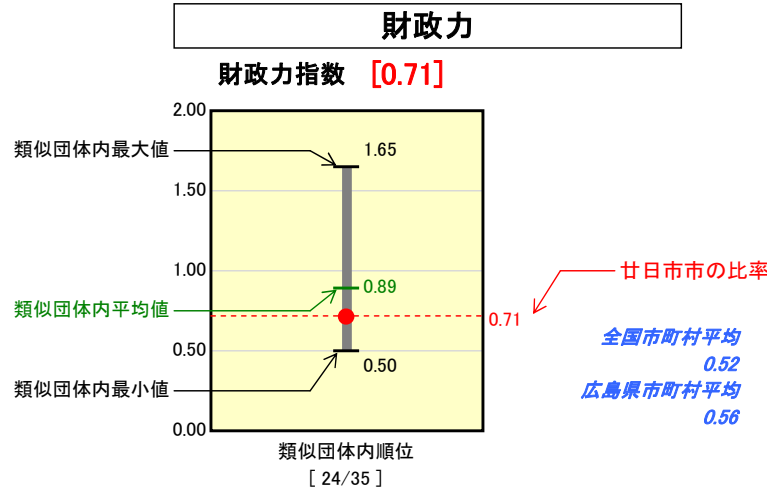


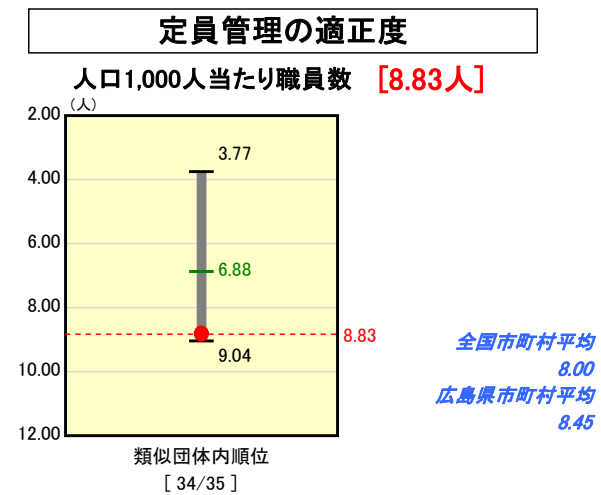
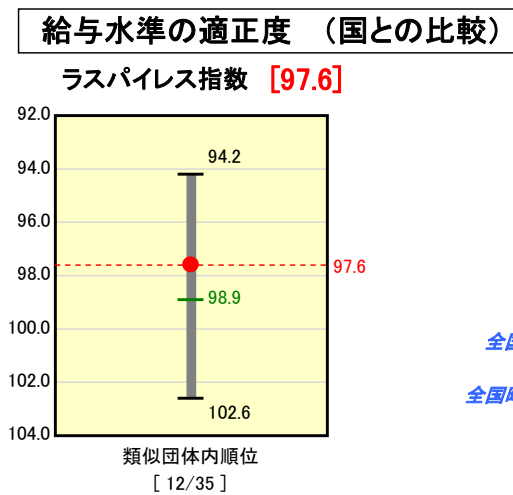
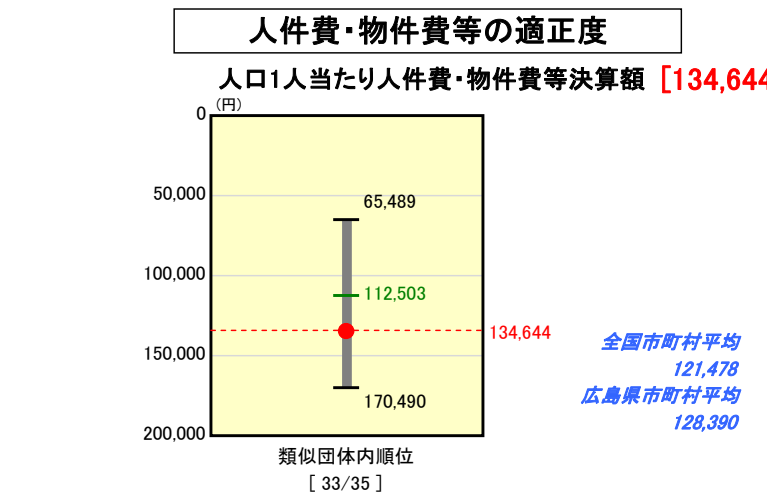
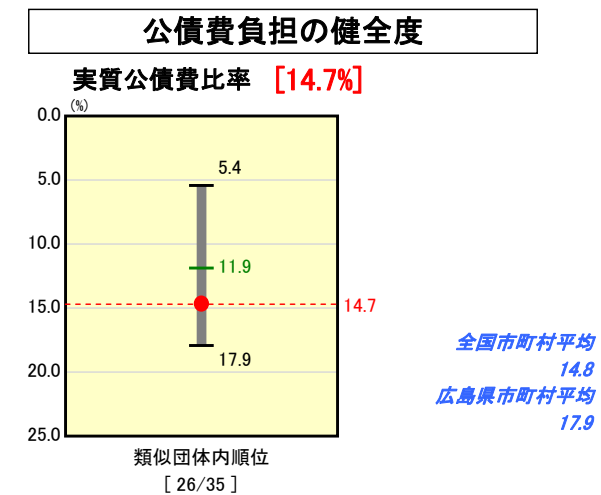
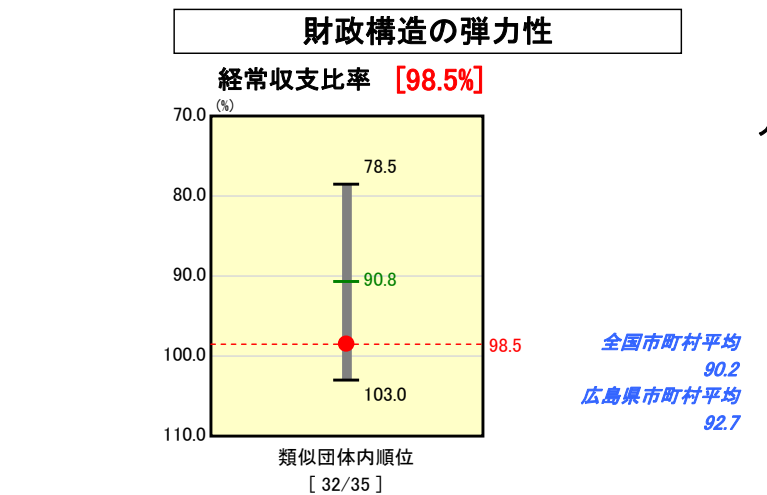
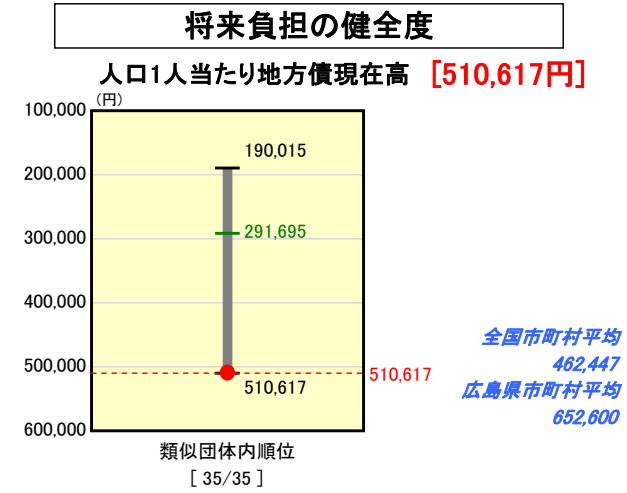
市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

広島県 廿日市市

人口	117,974人	(H18.3.31現在)
面積	489.36	km ²
歳入総額	44,074,805	千円
歳出総額	43,534,948	千円
実質収支	362,941	千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
前年比でほぼ横ばいであるが、類似団体の平均を下回っている。今後も市税等の収納率の向上に努め、財政の健全化を図る。

【経常収支比率】
歳入の経常一般財源等は前年比でほぼ横ばいであるが、歳出の経常的経費充当一般財源が、市町村合併により繰出金や物件費が増加し、比率は悪化している。(対前年度比3.0ポイント増加)
人件費の抑制、内部管理経費の削減など行財政改革への取組を通じて義務的経費の削減に努める。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
市町村合併により、類似団体平均を上回っている。合併のスケールメリットを生かし、人件費の抑制や内部管理経費の削減に努めていく。

【ラスパイレス指数】
全国平均とほぼ同水準であるとともに、類似団体平均を下回っており、適正なレベルを維持している。今後も適正なレベルを維持できるよう努める。

【人口1人当たり地方債現在高】
合併建設計画事業の推進により、類似団体平均を大幅に上回っている。将来的に持続可能な財政運営を行うため、新規発行債の抑制を行うとともに、計画的な繰上償還により、起債残高の抑制に努める。

【実質公債費比率】
合併特例債の活用や公共下水道整備の推進により、類似団体平均を上回っている。事業の進捗調整を行うなど実質公債費比率の抑制に努める。

【人口1,000人当たり職員数】
類似団体平均を1.95人上回っている。これは、市町村合併による影響が主たる要因となっているが、集中改革プランに基づき、定数管理の適正化に努める。